

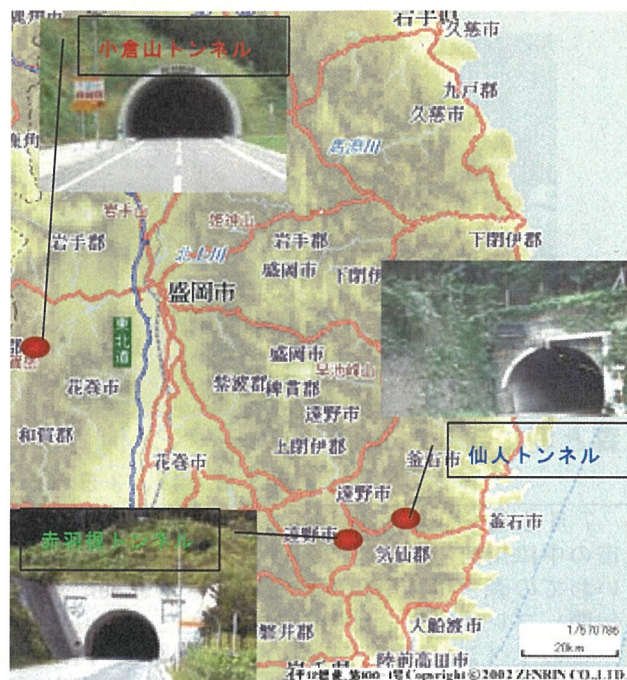
データウォッチング

本県の社会資本整備の状況等をデータで見るコーナー。今年度作成しました「県土整備年報'04」からご照会いたします。県土整備年報は、ホームページでもご覧になれます。アドレスはこちら

<http://www.pref.iwate.jp/~hp0600/nenpou.htm>

トンネル延長のベスト10

順位	路線名	トンネル名	延長	単位：m
1	国 283号	仙人トンネル	2,499.0	
2	国 340号	赤羽根トンネル	1,998.0	
3	主 花巻大曲線	小倉山トンネル	1,765.0	
4	主 盛岡横手線	山伏トンネル	1,282.0	
5	国 106号	下達曾部トンネル	997.0	
6	国 396号	小峠トンネル	995.0	
7	一 宮古港線	小山田トンネル	875.0	
8	国 397号	種山トンネル	870.0	
9	国 397号	赤金トンネル	855.0	
10	国 107号	白石トンネル	807.7	



土木建築作品

Vol.1 北上大橋
KITAKAMI OHASHI

県民に親しまれてい
る文化的価値の高い
土木建築作品を紹介
するコーナー

岩手県には南北に流れる大河北上川があり、北上平野を東西に分割しています。四十四田ダム湖にかかる岩姫橋（由盛岡環状線）から、宮城県に程近い北上川橋（由花泉藤沢線）までのおよそ180kmの間に、東西の交流や物流を一手に担ってきた県管理の橋梁が26あります。これらの橋群が、昔から人々の暮らしを支え、また人々に愛され、岩手の歴史を築いてきた大事な建築物であるといえるのではないのでしょうか。その中のいくつかをシリーズで紹介します。

【北上大橋】 先代の橋は、昭和9年に着工し、平成11年7月、あと9mで完成という時、増水のため足場もろとも流されました。再度架橋に取り組み、昭和13年に完成しました。全長204mの当時としては極めて斬新な形式のプレースト リブタイド アーチ橋でした。

現橋は、平成6年に着手し、15年春に完成しました。旧橋のイメージを残しつつ、力学的に無理のない構造を追求した結果、非常に優美な景観を得ることができました。この新橋は、ベント設置による自走式クレーンの片持ち架設でコスト縮減し、優美な構造と併せて評価され、16年6月に、土木学会田中賞作品部門賞（注釈）を受賞しています。

北上川に架かる橋には、それぞれ固有の歴史があります。地域間交流に寄与するばかりでなく、地域のランドマーク的存在でもあり、大河北上川に隔てられた兩岸を結び、岩手の交流物流を支えてきた岩手の歴史と文化に深く結びついた建造物の数々ではないかと思えます。

※ 田中賞とは

「田中賞」は、橋梁・鋼構造工学会の権威者であり、日本の橋梁界・鋼構造界の育ての親である故田中豊博士の功績を偲び、昭和41年に土木学会賞の一つとして発足したものです。「作品部門」では、設計者や施工者などではなく、あくまでも作品である橋などが表彰されます。県内では、昭和55年に北上市にある第二孫屋敷架道橋（日本国有鉄道）が受賞しています。



次世代にその優美な姿を引き継ぐ北上大橋の全景

地元の子供たちからのメッセージ紹介

「川崎村のシンボル」

川崎中学校2年 和泉日向子

全長482メートル、青緑色で、がっちりした、なんともたくましい北上大橋。

これから川崎村がどんな試練にみまわれようと、きっと、この村のシンボル北上大橋は私たちをいつまでも見守ってくれるのだと私は信じています。そして、これからの川崎村の歴史をたくさん刻み込んでいくことと思います。 出所：「北上大橋物語」より